

大阪大学 無料町民講座 (第二回)

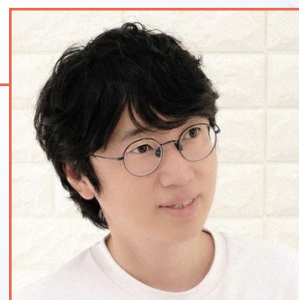
太古の地球は**緑色**に輝いていた!?

— 生命が変えた地球の色 —

遠く宇宙から地球を見ると、暗い宇宙空間の中に青く輝く「点」が浮かんでいるように見えます。しかし、地球は45億年前の誕生以来、ずっと青色だったのでしょうか？生命が誕生した約40億年前から、生命と地球は互いに影響を与え合いながら進化してきました。最近の研究から、太古代の地球では生命活動によって海の色が現在とは異なり、緑色に見えていた可能性があることが分かってきました。

本講座では、生命と地球環境の共進化をたどりながら、「なぜ地球は緑色だったのか」「どのように現在の青い地球になったのか」を紹介します。また、地球の色の変化が、将来、太陽系外惑星における生命探査の新しい手がかりになる可能性についてもお話しします。

講師 大阪大学理学研究科 教授 松尾 太郎



日時 8月7日(金) 18:00~19:30

8月8日(土) 10:00~11:30

※両日はおおむね同じ内容です ※オンライン視聴もできます

場所 大熊町連携大学等研究・支援センター
(大阪大学福島拠点)

※まちづくり公社(旧児童館)・大熊インキュベーションセンター(旧大野小)の近くにあります



【お申し込み方法】

- ・右 QR コードの申し込みフォーム
- ・お問い合わせ先への電話
- ・拠点や役場

にてお申込みください

(申込み締切りは各開催日の一週間前です)



お問い合わせ 大阪大学福島拠点 (大熊町下野上字清水309)

Tel: 080-4664-8986 E-mail: info@fukushima.osaka-u.ac.jp